

資料 3

病床機能の転換等について〔新宮保健医療圏構想区域 協議の場〕

医療機関名 新宮市立医療センター

現在の病床機能【概要】 <令和2年2月現在>				
機能区分	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	病床数	
急性期	3	急性期一般入院料 5	250	
回復期	1	地域包括ケア病棟入院料 2	50	
計	4	—	300	
(備考)				



転換の予定 <令和 年 月以降>				
機能区分	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	病床数	増減
急性期	3	急性期一般入院料 5	226	-24
回復期	1	地域包括ケア病棟入院料 2	50	0
高度急性期		ハイケアユニット入院医療管理料 1	5	+5
計	4		281	-19
(備考) 3階病棟の4人部屋6室を改修し、5床の高度急性期病床を整備する				

現在の病床機能【詳細】
<p>(転換等の理由)</p> <p>平成28年度に策定された「和歌山県地域医療構想」では、当圏域における病床数を2025年には1,043床から584床にしていくという構想があります。そのような中、高度急性期病床については44床不足しており確保する必要があるとされており、当院としては3階病棟の一部を改修し5床の高度急性期病床を令和2年度から3年度にかけて整備していくものです。</p>
<p>(当院の状況)</p> <p>直近1年間の病床利用率(令和元年2月～令和2年1月)</p> <p>一般病床(急性期一般入院料5) 250床 77.9%</p> <p>回復期病床(地域包括ケア病棟入院料2) 50床 83.3%</p>
<その他>



転換後における病院のあり方
<p>当院において高度急性期病床を整備することにより、術後患者など一般病床に移すまでの観察を要する患者を治療するための病床を確保することで、状態の安定化を図る事が可能となり、当地域の基幹病院・中核病院としての責務を果たす事が出来る病院となる。</p>
<p><地域密着型協力病院指定申請の予定の有無等></p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 指定済み</p>
<その他>